2025年度　市立秋田総合病院　新人看護職員年間研修計画表

記されている研修・演習は予定なので、時期や内容に変更が生じることがあります

最終到達目標		◆ 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する　◆ チームメンバーの役割を遂行できる　◆ 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる										
時期		4月～5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月
時期別到達目標		○ 社会人としてのマナーを身につける ○ 指導を受けながら、チームの一員としての役割を理解できる ○ 報告・連絡・相談ができる ○ 指導を受けながら、ケアの受け手に基本的な援助ができる ○ 指導を受けながら、看護手順に沿ったケアが実施できる			○ 指導を受けながら、看護手順に沿ったケアが実施できる ○ 助言を受けながら、チームの一員としての役割を理解できる ○ 助言を受けながら、ケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる ○ 自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる ● 助言を受けながら、7月には日中・夜勤を経験できる				○ 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる、またその情報を関係者と共有できる ○ 助言を受けながら、ケアの受け手や周囲の人々の思いや価値観を理解し、ケアできる ○ ケアの受け手の状況から、緊急度を捉えることができる ○ 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる ○ 自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる			
集合研修	講義等	病院看護部理念、医の倫理	フィジカルアセスメント	新人ナース支援Ⅰ	末梢点滴と中心静脈栄養、CVポートの管理	高齢者看護	フィジカルアセスメント②		救急急変時の看護記録	死後のケア	新人ナース支援Ⅲ	
		医療安全対策・感染予防対策	（循環・呼吸・腹部）	夜勤のオリエンテーション	自施設における看護補助者に係わる規定及び運用		医療安全②		新人ナース支援Ⅱ	退院調整の基礎知識		
		情報セキュリティー	ストレス対処	医療安全①								
		インフォームドコンセントと個人情報保護	薬品の取り扱い									
		採血・注射の基礎知識	日常生活場面で理解する看護職の倫理綱領と看護業務基準									
		診療情報の取り扱い	4側面での情報収集									
	演習含む	入院の取り扱い	食事支援			輸血の取り扱い			BLS			
		褥瘡予防対策・ボディメカニクス	経腸栄養法									
		医療機器の安全な取り扱い（輸液ポンプ・シリンジポンプ）	導尿									
		採血・静脈注射の実技訓練	浣腸									
		感染予防の基礎知識	看護記録・電子カルテシステム									
		酸素吸入・吸引	医療安全①									
提出物		□臨床実践能力到達項目評価表（共通編・部署別） □4月の振り返り	□5月の振り返り □5月の評価	□6月の振り返り □夜勤前評価	□7月の振り返り □夜勤振り返りシート			□8～10月の振り返り □10月の評価 □10月課題		□11～1月の振り返り □1月課題	□2月の評価 □振り返りレポート □臨床実践能力到達項目評価	□3月の評価
OJTによる現場教育		療養環境調整	体位変換	安楽な体位の保持	創傷処置	入眠・睡眠の援助	麻薬の投与・投与中の観察	針刺し切創、粘膜暴露等による職業感染防止対策と事故後の対応	チームメンバーへの応援要請		1年の振り返りを各部署で発表（3月）	
		ベッドメイキング	入院患者の準備	薬剤等の管理	無菌操作の実施						死後のケア	
		移乗介助・移送	寝衣交換等の衣生活支援・整容	静脈内注射、点滴静内注射	包帯法							
		バイタルサインの測定と入力	入院時必要な業務	抗菌薬、抗ウィルス薬等の用法の理解と副作用の観察	浣腸・摘便・導尿	皮下注射・筋肉内注射・皮内注射						
		身体計測（身長、体重、腹囲）	意識レベルの把握	輸液ポンプとシリンジポンプの準備と管理	膀胱内留置カテーテルの挿入と管理							
		パルスオキシメーターによる測定	患者誤認防止の実施	罨法等身体安楽促進ケア	各種検査の介助、観察							
		清拭・部分浴・陰部ケア・おむつ交換	体動・移動に注意が必要な患者援助	経腸栄養	洗浄・消毒・滅菌の適切な選択						（気管挿管の準備と介助）	
		口腔ケア	標準予防策の実施と必要な防護用具の選択	酸素吸入、吸引							（人工呼吸）	
		車いす・ストレッチャー移送	静脈血採血と検体の取り扱い	褥瘡の予防							（気道確保）	
		自然排尿・排便援助	重症度、医療・看護必要度	食事支援							（胸骨圧迫）	
		体温調整	心電図モニターの装着・管理	経口与薬、外用薬、直腸内与薬							（外傷性の止血）	
		歩行介助	誤薬防止の手順に沿った与薬									
		入院準備・入院オリエンテーション	医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い									
		転倒転落防止策の実施	血糖測定と検体の取り扱い									